

2026 年 10 月 7 日

ペプチドリーム株式会社
<https://www.peptidream.com/>
(証券コード：4587 東証プライム市場)

MSD 社との共同研究開発によるマイルストーンフィー受領のお知らせ

- ・ 開発中の候補化合物がマイルストーンを達成したため、MSD 社との共同研究開発およびライセンス契約に基づき、マイルストーンフィーを受領しました
- ・ 両社の開発活動が順調に進展していることを示す成果になります

ペプチドリーム株式会社（代表取締役社長CEO：リード・パトリック、本社：神奈川県川崎市、以下「当社」）は、本日、MSD（Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USAが米国とカナダ以外の国と地域で事業を行う際に使用している名称）社と実施している共同研究において、PCC^{*1}（peptide cytotoxic conjugate）プログラムのマイルストーンを達成しましたのでお知らせいたします。

本プログラムは、成長分野であるPCC領域における当社独自の創薬開発プラットフォームシステムであるPDPS[®]（Peptide Discovery Platform System）の幅広い応用可能性を示すものです。共同研究開発およびライセンス契約に基づき、ペプチドリームはPDPS[®]技術を用いて同定されたペプチド候補化合物を、MSD社が選定した標的に対して提供しています。MSD社は当該ペプチド候補化合物に関する独占的権利を保有し、本取り組みから創製されるPCC製品の開発のすべてを担います。

当社代表取締役社長CEO リード・パトリックのコメント：

「この度、MSD社との創薬共同研究において、この重要なマイルストーンを達成できたことを大変嬉しく思います。この重要な成果は、当社のPDPS[®]プラットフォームの優れた有用性と汎用性を示すものであり、成長が期待される新しい治療モダリティの可能性を裏付けるものです。今後もMSD社と緊密に連携し、本プログラムのさらなる進展に取り組んでまいります。」

本プログラムの進展に伴い、当社はMSD社からマイルストーンフィーを受領します（金額はMSD社との契約により非開示）。

本件につきましては、2026年2月16日に発表いたしました2026年12月期の業績予想に織り込み済みであり、業績予想に変更はございません。業績予想に変更が生じる場合には、速やかに開示いたします。

*1 PCC：ペプチドと細胞障害性ペイロードの複合体

ペプチドリームについて

ペプチドリーム株式会社（東証プライム市場 証券コード 4587）は、環状ペプチドから新たな革新的医薬品を産み出すことで、アンメット・メディカル・ニーズに応え、世界中の人々の生活の質を向上させることを目指しています。放射性医薬品（RI）領域において、完全子会社であるPDRファーマを通じて日本で放射性医薬品の販売を行っています。また、独自の創薬開発プラットフォームであるPDPS (Peptide Discovery Platform System) 技術を活用し、革新的な放射性治療薬や放射性診断薬を創製し、自社または提携プログラムとして開発しています。Non-RI 領域においては、PDPS を活用したペプチド医薬品、ペプチド-薬物複合体（PDC）および多機能ペプチド複合体（MPC）による治療薬・診断薬への展開を共同研究開発パートナーによる広範囲なグローバル・ネットワークを構築し、幅広く進めております。ペプチドリームの本社の所在地は川崎市です。当社や当社技術、パイプラインについての詳細については、<https://www.peptidream.com> をご覧ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

ペプチドリーム IR 広報 沖本

TEL：044-223-6612

Email：info@peptidream.com

ウェブサイト：<https://www.peptidream.com/>

X：https://x.com/PeptiDream_Inc